

平成28年度 知事室長 運営目標

番号	運営目標	ページ
1	WEB媒体に関する外部専門家や地域情報を有するパートナーなどとWEBチームを構成し、効果的戦略や魅力あるコンテンツにより、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)を強力な情報発信力のあるものに再構築します。	1
2	新たな友好提携を行うとともに、「京都国際交流おもてなし大使」の任命により、府民の方々とともに交流の枠組みを作り、友好提携州省等海外との交流を積極的に進めます。	2
3	友好提携州省との関係を活かした留学生誘致の仕組みを構築するなど、海外からの留学生を積極的に受け入れ、地域の国際化・活性化に活かすため、オール京都で留学生を誘致・支援します。	3
4	連携・協働の力による情報発信を進め、広報媒体のブラッシュアップと合わせて、事業の成果や地域情報を強力に発信します。	4
5	災害からの安全な京都づくりを目指し、関係部局等と連携し、府民の防災意識の高揚を図るための広報・啓発を強化するとともに、災害時等の情報提供を確実かつ迅速に行います。	4
6	「知事と和い和いミーティング」の開催を通じ、地域創生に取り組む府民の活動を応援します。	5
7	多文化共生や国際交流の推進など、(公財)京都府国際センターを核として府内市町村等と連携・協働して、地域の国際化を進めます。	5

運営目標数	7
うち数値目標	6

平成28年度 知事室長 運営目標

運営目標		
1	WEB媒体に関する外部専門家や地域情報を有するパートナーなどとWEBチームを構成し、効果的戦略や魅力あるコンテンツにより、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）を強力な情報発信力のあるものに再構築します。	
達成手段 (数値目標)	①	WEB媒体に関する外部専門家を選定、そのアドバイスのもと、戦略策定・展開・効果測定・再展開のサイクルでSNS媒体の発信力の強化を図ります。 ・WEBの専門的知識や実践経験を有する専門家のアドバイスのもと、戦略策定・展開・効果測定・再展開のサイクルで発信力を強化
	②	WEB媒体に関する外部専門家や地域情報を有するパートナーなどとWEBチームを構成し、事業部局、市町村、メディアなどとの連携・協働により、京都に関するコンテンツの充実を図ります。 ・WEB媒体に関する外部専門家や地域情報を有するパートナーの参画を得てWEBチームを構成 ・WEB媒体、特にfacebookページについて、京都の最新の情報を得る強力な媒体となるよう、WEBチームにより魅力的なコンテンツを発信 <Facebookページのいいね！ 25万人（㊦14,805人）>

平成28年度 知事室長 運営目標

運営目標

運営目標		
2	新たな友好提携を行うとともに、「京都国際交流おもてなし大使」の任命により、府民の方々とともに交流の枠組みを作り、友好提携州省等海外との交流を積極的に進めます。	
達成手段 (数値目標)	①	海外への文化発信に積極的な府民を「京都国際交流おもてなし大使」に任命し、府とともに交流事業に取り組んでいただける枠組みを整備します。 ・多くの府民の方に交流活動に参加していただき、交流活動の充実を図るとともに、府民の国際理解を推進
	②	カナダ・ケベック州との間で、京都府として7番目となる友好提携を締結し、同州と人的交流や学術交流を実施するとともに、新たな交流提携に向けて、ターゲットとなる国・地域を調査します。 ・カナダ・ケベック州との間で、モデルフォレスト交流やスマートシティの推進等に関する協力、大学や高校間の提携等を推進し、交流のネットワークを拡大 ・新たな交流提携に向けて、ターゲットとなる国・地域を調査
	③	平成27年度に友好提携したフランス共和国ラングドック・ルシヨン州が隣接するミディ・ピレネー州と合併したことを踏まえ、同州との人的交流や経済・観光交流をさらに推進します。 ・同州から訪問団を受け入れ、新たな協定を締結 ・友好提携の府民広報を行うため、民間団体と連携したPR事業を実施 ・フランスとの交流内容を更に拡充し、人的交流や経済・観光交流を更に活発化
	④	中国交流人材を活用した陝西省その他中国との交流を再構築します。 ・府と陝西省における新たな交流事業の策定(陝西省が抱える環境問題解決に向けた事業策定、京都への留学生招致) ・中国との交流事業における市町村支援・連携(宇治市-陝西省咸陽(30周年)、亀岡市-江蘇省蘇州(20周年)、京丹後市-安徽省亳州(10周年))
	⑤	京都府の友好提携州省をさらに良く知っていただくため、府の国際交流活動への府民の理解と参画を進めます。 ・府民にPRするイベント、「京都国際交流おもてなし大使」任命式等を通じ、友好提携6州省等との交流に対する理解・参画を促進

平成28年度 知事室長 運営目標

運営目標

3	友好提携州省との関係を活かした留学生誘致の仕組みを構築するなど、海外からの留学生を積極的に受け入れ、地域の国際化・活性化に活かすため、オール京都で留学生を誘致・支援します。		
達成手段 (数値目標)	①	(1) 留学生スタディ京都ネットワークを中心に、オール京都で留学生の誘致から就職までを総合的に支援します。 ＜府内の留学生数:8,700人(㉔7,238人)＞ ＜京都企業に就職した留学生数:280人(㉔377人)＞ ・京都単独の留学フェア(学校説明会)を海外3ヶ所で開催。(㉔1ヶ所) ・友好提携州省を留学生誘致の重点国・地域に定め、効果的なアプローチ方法を検討・具体化 ・京都留学の魅力を伝え、海外の学生に京都留学を決めてもらえるガイドブックを作成 ・主に渡日前及び来日間もない留学生に対して、多言語で京都の賃貸住宅情報を提供する京都の住宅情報サイトを創設し、住居探しの不安を解消 ・京都の中堅・中小企業でインターンシップを行い、留学生と企業との相互理解を深めることで、留学生の雇用と就職後の定着を促進 ＜インターンシップ参加学生数:30名、参加企業数:20社(28年度新規)＞ (2) 府の遊休資産を活用し、留学生宿舍の整備など大学との連携・共同事業を実施します。 (3) 友好提携州省における京都留学情報の発信や学校説明会の開催、パートナーとなり得る大学等との関係を構築します。	

平成28年度 知事室長 運営目標

運営目標

4 連携・協働の力による情報発信を進め、広報媒体のブラッシュアップと合わせて、事業の成果や地域情報を強力に発信します。

達成手段 (数値目標)	①	広報センターの外部専門家やPR専門会社とともに、メディアへの売り込みや企業タイアップにより情報発信を強化します。 ・テレビ、雑誌編集者などメディアとの関係を強化し、露出をアップ ・新たな施策や府民サービスの周知とともに、事業の成果の発信の観点も踏まえ、府のパブリシティを充実（成果広報の強化）
	②	市町村や地域メディア（コミュニティ・FM、ローカル紙、ケーブルテレビ等）と連携した情報発信等を強化します。 ・地域情報「ファクトブックシステム」の充実とメディアでの活用による地域情報の拡散を強化 ・広報協議会における研修の充実と市町村広報相談の実施 ・京都府からのプレスリリースを提供し、地域メディアからの情報発信を強化 ・府政情報に係る広報企画を募集し、細やかな府政情報発信を実施＜20企画（2713企画）＞ ・地域メディアの活動を府ホームページ、SNSで紹介して情報発信
	③	府民だより、テレビ・ラジオ、ホームページ、まゆまるなどの広報自主媒体・発信ツールをブラッシュアップし、事業の成果や地域情報を強力に発信します。 ・広報自主媒体をブラッシュアップし、事業の成果や地域情報を強力に発信 ・まゆまるを歌とダンスで強力なキャラクターへブラッシュアップし、京都府事業、市町村との共催イベント等への出演のほか、府外へ飛び出し京都府を強力に発信するとともに、まゆまるSNSで出演イベントの告知、イベントの参加状況を発信し、新たなファンを獲得 ＜まゆまるに関し、Twitterのフォロワーを4万人（2729,143人）、Facebookのいいね！を2万人（277,979人）、LINEの友だちを3万人（2715,714人）＞

5 災害からの安全な京都づくりを目指し、関係部局等と連携し、府民の防災意識の高揚を図るための広報・啓発を強化するとともに、災害時等の情報提供を確実かつ迅速に行います。

達成手段 (数値目標)	①	府ホームページやSNS等を活用し、災害時の情報提供を確実かつ迅速に実施します。 ・夜間、休日時における府ホームページの情報更新体制を強化 ・SNS（ツイッター）を利用して、気象に関する警報等の情報を確実に発信
	②	災害に対する知識や備えについて、府民だよりや府ホームページ、ラジオ等を通じて広報・啓発します。
	③	大規模災害を想定した実践的な訓練を実施します。 ・ホームページの簡易版への切り替え、協定締結報道機関への放送要請等の実施 ＜2回（27実績 2回）＞

平成28年度 知事室長 運営目標

運営目標

6	「知事と和い和いミーティング」の開催を通じ、地域創生に取り組む府民の活動を応援します。		
達成手段 (数値目標)	①	地域創生戦略に位置付けられた施策や事業に関わる府民、団体、NPOなどの皆さまとの交流や意見交換を通じ、「知事と和い和いミーティング」を地域創生の取組の応援や施策へのフィードバックの場として展開します。 ＜参加した人の満足度 90%（27）82.4%＞	
7	多文化共生や国際交流の推進など、(公財)京都府国際センターを核として府内市町村等と連携・協働して、地域の国際化を進めます。		
達成手段 (数値目標)	①	外国籍府民が地域で安心して不自由なく暮らせる取り組みをさらに推進します。 ・市町村国際化協会等で実施している日本語学習支援や生活相談などに対し、円滑に運営できるよう情報共有や支援を図ります。 ・外国籍府民が参加する防災研修・防災訓練を始め、地域で暮らす外国人の日常生活支援の役割を担うボランティア等を支援する取組を府内市町村や市町村国際化協会と連携して実施するなど、安心・安全を支える取り組みを進めます。 ・来日間もない留学生や過疎地域に定住する外国籍府民等にも、十分な日本語教育が確保されるよう、スカイプ等を活用した日本語学習支援の検討を行い、利用しやすいカリキュラムを策定します。	
	②	府民の国際化への理解を進めるとともに、留学生を対象に地域とのふれあい交流を通じて京都への理解を深め、定着等を促進する事業を実施します。 ・留学生に関する体育、文化及び音楽に関するイベントを府の3大留学生交流支援事業として位置付け、関係団体と連携して事業に取り組めます。	
	③	府内の国際交流等を推進するため、府全域での大使活動を活発化します。特に府の振興局事業等への協力や、市町村トライアル事業の利用が少ない府北・中部や南部の利用を促進するとともに、帰国した名誉友好大使については、京都と京都人を結ぶグローバルネットワーク「京都倶楽部」の活動に対する協力を促します。 ＜北・中部30事業、南部30事業、京都市内95事業（27）実績 北・中部27事業、南部27事業、京都市内85事業、海外5事業＞	
	④	京都府の友好提携先等との交流を活発化させるため、サポーター（個人）や団体を組織化し、各種交流事業を協働で実施します。[再掲]	